



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：岩田 修司
 幹事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760.nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 Light up Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まろう・語ろう・楽しもう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1689回例会

～ロータリー識字率向上月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年3月19日(木) 雨 第36回

司会：宮澤伸光会場委員
 ゲスト：交換留学生 Lea Stalderさん
 斉唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」

会長挨拶

岩田修司会長

明治の始まりから現在まで、日本ではどんな人達がお金持ちだったかという事で振り返ってみたいと思いますが、まず明治時代からのお金持ちと言えば、三大財閥が挙げられると思います。江戸時代の後期、呉服商・両替商だった三井家、江戸時代中期に鉱山で成功し、後に両替・金融業に進出した住友家、明治に入ってから政商として活躍した岩崎弥太郎が、鉱山、造船、銀行、不動産などに進出した三菱家、この三大財閥が代表的な人々でございすが、その他にも渋沢栄一、大倉喜八郎、安田善治郎など新しい産業で成功するお金持ちが多く出現していた訳でございます。



戦後は松下幸之助を筆頭とするオーナー経営者の時代となり、当時のお金持ちランキングを見ると、ブリジストン社長、住友財閥の総帥、ポーラ化粧品社長と、社長の名前がずらりと並び、重厚長大産業そして、家電産業などが日本経済を引っ張っていたことが読み取れる訳でございます。

それから日本は「土地バブルの時代」に突入する訳ですが、そのきっかけは田中角栄の日本列島改造論に基づく1969年の土地税制の変更であります。土地を売った時にかかる税率が、それまで最高税率70%だったのを10%に引き下げたことで、土地を手放す人達が増え、高額納税者名簿の上位には土地成金がずらりと並ぶようになった訳でございます。

90年代に入って、バブル崩壊と土地の値下がり、今度は自力で稼げる人が本当のお金持ちとして浮上してくる訳です。2001年頃の高額納税者リストには起業家と医者が2大メジャー職業となっていたわけでありませう。

そして現在は、日本のお金持ちは増加傾向にあり、野村総研の2014年11月発表のデータによれば、金融資産1億円以上の富裕層が2年間で24.3%も増えているという事でございます。これには2つの理由があるようで、1つはスーパースターと言われる人の市場への登場で、1回の講演で数百万円稼げるような人が出てきているという事で、集客力のある人にスポンサーが集中するようになってきているという事です。もう1つはグローバル化に伴い、日本企業の役員報酬が外資系企業並みに高くなってきて、1億円以上の報酬を手にする人もだんだんと増えてきているとの理由だそうでございます。三大財閥の家系に生まれなくても、先祖代々の土地がなくても、努力次第では富を万人が手にすることが出来る時代になったという事だそうでございます。

ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- ・一昨日、昨日と父の通夜、葬儀にご会葬いただき誠にありがとうございます。お陰様で無事送ることが出来ました。心より感謝申し上げます。
鶴田 浩さん
- ・わが家の孫が医師国家試験に合格しました。
山田 鎮浩さん
- ・台北延平RC訪問では皆様方、特に両湯澤さん、関谷さん、梅村さんには格別お世話になり感謝いたします。本日卓話当番です。よろしく願いいたします。
野崎 洋二さん
- ・野崎さん卓話楽しみにしています。
湯澤 信雄さん 関谷 俊征さん
- ・台北延平RC周年行事に近年にない多数の参加に感謝して！
高村 博三さん
- ・台北延平RC38周年ご苦労様でした。
岩田 修司さん
- ・まもなく花見の季節です。山崎川本当にきれいになりました。楽しみです。
森 裕之さん
- ・今日、小学校の卒業式に出席してきました。今年も感激しました。山本さんありがとうございました。
大嶽 達郎さん
- ・台湾、その他では皆様にお世話になりました。
鈴木 淑久さん
- ・台北訪問の皆様、お疲れさまでした。特に近藤茂弘さん！
湯澤 勇生さん
- ・皆さんのお陰で何も起こらず台北から帰ってこられました。ありがとうございます。
佐治 寛行さん
- ・楽しい台湾でした。
内田 久利さん
- ・台北延平RC訪問、皆様本当にお疲れさまでした。ありがとう。
松波 恒彦さん

出席報告

山本英雄出席委員長

会員63名 出席44名 (出席計算人数44名)

出席率 88.0% 3月12日は補填により 96.6%

幹事報告

堀 慎治幹事

- ・本日13:40から新旧会長・副会長・幹事懇談会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・3月26日(木)18:00から第1690回例会及び、I.D.M.をヒルトン名古屋4階「桜の間」にて行います。

臨時クラブフォーラム

高須洋志さん

インターアクトクラブ提唱について

愛知県立瑞穂高校よりインターアクトクラブ提唱依頼がございました。これはRCが提唱して設立する青少年育成プランであり、学校に出来たクラブを支援するものではありません。

経緯は、生徒の方が名古屋瑞穂RCへ訪ねてこられ、インターアクトクラブを作ってほしいと依頼されました。クラブの設立にあたり学校側は、設立に必

要な15名程の人数を集めます。瑞陵高校にはすでに15名揃っているそうです。それに応え、RCはインターアクトクラブ準備小委員会を作ります。

予算については、インターアクトクラブにどんな活動を期待するかというRC側の思いが影響してきますが、基本的には20~30万円かかり、その他に国際理解のための派遣事業なども考えますと、30~40万円になります。7月に設立を希望する学校側の希望もあり、スケジュールもタイトであります。

インターアクトクラブに参加した学生は、新しい友達を作り、奉仕活動を理解することを目的とします。活動は、地域に根ざした奉仕活動と、国際理解のための活動の2本柱を中心として行います。

インターネットで調べるとインターアクトについても出てきますので、まずどんなものか調べて頂き、理解度は別として、やるか、やらないのかを次のクラブフォーラムで決めて頂きたいと思えます。

卓話

野崎洋二さん

創立35周年・我が名古屋瑞穂RCの歩み

皆さんご承知の通り名古屋瑞穂RCも35周年となりました。設立当時34名のチャーターメンバーで発足しましたが、現在は名誉会員を含め当時のメンバーは7名となり、寂しいと感じると同時に長い歴史も感じます。



ご承知のように親クラブは名古屋南RCですが、1979年、当時のガバナーである名古屋南RCの川瀬保さんが、自分のクラブに公式訪問した際に、新しいクラブ発足の話が上がった事がきっかけです。名古屋瑞穂RC設立の準備として、その年の9月に特別代表(世話人)が決定し、12月には名古屋南RCから4名の会員が移籍、新会員も決定し、最初の34名が揃いました。準備が整い、以後実際の活動に入って行く訳です。

そして翌年1月10日に創立総会が開かれ、RIに新しいクラブとして申請するための必要書類を整えました。そこで問題になったのはテリトリーをどうするかです。瑞穂区のRCですので、そのまま瑞穂区を地区としていいのか、親クラブの名古屋南RCとの兼ね合いをどうするべきかという点についてです。結局、地区は名古屋南RCの地域もそのまま共有する事になり、当時は2階建てクラブと言われておりました。移籍会員の方々のリードがあり、無事申請書類を提出出来ました。承認までは1ヶ月以上かかるというお話でしたが、幸運なことに1月中旬という早さで承認されました。仮クラブから正式クラブとなり、当時の幹事が「これで正式なクラブになりました。どうか皆さんメイキャップをしてください。」と繰り返しおっしゃった事が今でも耳に残っています。いかにロータリアンは出席が大事であったことが分かる言葉でした。

承認が済みますと認証状が参りますので、それをお披露する伝達式の開催が必要だということで、5月10日に認証状伝達式・チャーターナイトを行う事となりました。新会員はまだチャーターナイトの意味が分からない時期でしたので、別のRCに見学へ行くこととなりました。当時、大阪の都島RCでチャーターナイトがあるという情報が入りましたので、微細に見学し、準備にかりました。また、同時に会員増強も図り、3月には8名の新会員が入会しました。

チャーターナイトについては、愛知県の各クラブを訪問してPRをするわけですが、2人一組で2~3クラブを回りPRいたしました。お陰様で、当日は来賓30名、参加クラブ64クラブに参加頂きました。無事終了し、一つのことを成し遂げた仲間意識、連帯感を得たことは、大きな財産になりました。

1979-1980年度当時、この地区は長野県と併せて260地区としていました。そのため、ガバナーは愛知県と長野県が1年ごと交代で輩出されておりました。

その年の地区大会は長野県で行いましたが、その時は蓼科にある私の山荘に全員が泊まり楽しく地区大会に参加をしてきたこともありました。

当時は組織といっても少人数の為、委員長も掛け持ちで、私は会報を担当しました。写真を撮り、テープで録音して原稿を起こし、町工場の印刷場に刷ってもらうという事を毎週行い、大変な思いもしました。

最後に、近年ガバナー訪問は合同となっていました、以前は全クラブ回られ、名古屋瑞穂RCに来ていただいた時など私も感激しロータリーを感じることができました。近藤ガバナーも一つ一つのクラブを回られ大変だったと思いますが、ここに敬意を表しまして締めたいと思えます。

台北延平RC38周年記念式典



例会のご案内

■今週の行事 3月26日(木) 第1690回例会及びI.D.M
場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間：18:00~20:00

■次週の卓話 4月2日(木)
テ - マ：カッティングツールについて
会員卓話：岩田吉廣さん

■次々週行事 4月9日(木) なごやか例会
場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間：18:00~20:00